

学会だより

電子情報通信学会通信ソサイエティ特別講演会の開催概要

「有人・無人宇宙探査技術への挑戦」

電子情報通信学会 宇宙・航行エレクトロニクス研究専門委員長、KB-4 オーガナイザ前田惟裕



電子情報通信学会総合大会が東京工業大学大岡山キャンパスで開催され、その中で、通信ソサイエティ特別講演（座長通信ソサイエティ会長 酒井善則（東工大））が3月23日に「有人・無人宇宙探査技術への挑戦」(KB-4) が開催された。その中で、中国空間技術研究院(CAST: Chinese Academy of Space Technology)副総設計師の Yang Hong 教授から「平和利用のための宇宙技術の研究・開発-神舟5号の成功-」(KB-4-1)と題する特別講演が行なわれた。その中で、1968年創立の約8000名を擁する CAST の概要について報告があった。これまで約50個の衛星を打ち上げてきた。また、神舟1号(1999年11月)、神舟2号(2001年1月)、神舟3号(2002年3月)、神舟4号(2002年12月)により、無人の状態での試験が行なわれ、2003年10月15日、中国最初の宇宙飛行士 Yang Liwei 氏を乗せた神舟5号による有人飛行に成功したが、その開発の概要について、写真をまじえて説明が行なわれた。神舟は、軌道周回モ

ジュール、帰還モジュール、推進モジュールの3つのモジュールから構成され、帰還モジュールが宇宙飛行士を乗せて帰還する。将来は、船外活動、宇宙基地を目指しているとのことである。CAST からの神舟5号の講演は日本では初めてとのこともあり、多数が出席し、盛況であった。

